

第27回「食」と「漁」を考える地域シンポジウム

風間浦鮎鱈のブランド化と「ゆかい村」観光

水産資源を生かした観光地域づくり

共催：(一財)東京水産振興会・(一社)漁業情報サービスセンター・ゆかい村鮎鱈ブランド化戦略会議
後援：青森県・風間浦村・下北水産振興会・(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所・NHK 青森放送局・RAB 青森放送・ATV 青森テレビ・青森朝日放送株式会社・東奥日報社・デーリー東北新聞社・河北新報社・毎日新聞青森支局・読売新聞青森支局・朝日新聞青森総局

と き： 2014年11月11日(火) 13:00~17:00

ところ： 北通り総合文化センター「ウイング」

(青森県下北郡大間町大字大間字内山 48-164 電話:0175-32-1111)

コーディネーター：二平 章(漁業情報サービスセンター・茨城大学人文学部)

プログラム

主催者挨拶：渥美雅也(東京水産振興会専務理事) 13:00~13:20

駒嶺剛一(ゆかい村鮎鱈ブランド化戦略会議会長)

来賓挨拶：飯田浩一(風間浦村長)

趣旨説明：コーディネーター

《第1部》シンポ：観光地域づくりと食の魅力

○特別報告

小漁村での多彩な観光地域づくりに取り組んで 13:20~14:00

朝本紀夫(和歌山県すさみ町商工会長・NPO法人魅来づくりわかやま理事長)

○リレートーク

1. ゆかい村の観光戦略とアンコウのブランド化 14:00~14:20

森 庸宏((公社)青森県観光連盟主幹)

2. 食材としての「風間浦鮎鱈」の魅力 14:20~14:40

立川博之(東京神田鮎鱈料理老舗「いせ源」専務)

3. キアンコウの生態と持続的利用に向けた課題 14:40~15:00

竹谷裕平((地独)青森県産業技術センター水産総合研究所主任研究員)

休憩(15分)

4. 風間浦の水産資源と活アンコウ漁 15:15~15:35

中塚義光(蛇浦漁業協同組合代表理事組合長)

5. 「湯と食」のおもてなし観光の魅力づくり 15:35~15:55

長谷雅恵(下風呂温泉旅館組合おかみの会会長)

○パネル討論 魅力ある観光地域づくりをめざして 16:00~17:00

司会：二平 章

《第2部》交流会：食べよう！下北の新鮮な海の幸 18:30~20:00

とびきり新鮮な魚を囲み楽しく懇談します。あんこう鍋も予定。

会場：下風呂公民館(下風呂温泉地区)

参加費：5,000円

開催趣旨

風間浦村は、下北半島にある本州最北端の村である。マグロで有名な大間町に隣接する村は、明治22年下風呂(しもふる)・易国間(いこくま)・蛇浦(へびうら)の集落が合併して誕生。主要産業は漁業、観光、林業で現人口2,200人ほどの典型的な地方漁村である。村内にはあの新島襄も逗留した江戸時代から続く下風呂温泉があり、眼前の津軽海峡からはアンコウ・スルメイカ・コンブ・フノリ・ウニなどの新鮮魚介類が村内3漁港に水揚げされる。近年、全国の漁村では過疎化が進行し、低迷する地域が増えつつあるが、そのなかで風間浦村は人々の努力で活気ある観光村づくりに挑戦中だ。地域の「宝」は温泉と海の幸、つけた名前が湯と海の村「ゆかい村」である。平成22年からは特産の活アンコウに着目、「風間浦鮫鱈」のブランド化に取り組み、東京の老舗料理店やフレンチレストランにも出荷、風間浦の名を全国に発信。地元の下風呂温泉にも鮫鱈料理を目的に観光客が増えだした。

今、日本は観光立国を目指し、1,000万人に増えた外国人観光客を2020年までに倍増させる計画をすすめている。海辺の自然と食に恵まれた漁村社会も、今、それら観光客の受け皿となる世界に通用する魅力ある地域になり得るかが問われているともいえる。農業や林業でも過疎地を逆に、高知県馬路村の取り組みのように、元気な村づくりをすすめている地域もある。最近、田舎だからこそできる取り組みの魅力と生き方を紹介した、藻谷浩介・NHK 広島取材班著「里山資本主義」(角川)が出版され大ベストセラーとなった。このような動きを見据え、本シンポジウムでは、風間浦村と同様な小漁村でありながら、抜群のアイデアと行動力で「すさみケンケン鯉」を一級ブランド商品に押し上げた和歌山県すさみ町の商工会長を迎え、全国課題でもある漁村の活性化、海洋観光地域づくりの取り組みについて議論してみたい。

◎特別パネル展示 於：ウイングホール

「下北地域におけるキアンコウの資源管理とブランド化推進に向けた取り組みについて」
青森県下北地域県民局地域農林水産部むつ水産事務所
(地独)青森県産業技術センター下北ブランド研究所・水産総合研究所

■送迎バスのお知らせ■

シンポジウム当日と翌日、七戸十和田駅から会場までの送迎バスを手配します。

- ①11月11日 七戸十和田9:45発 → 会場12:30着 (新幹線:七戸十和田駅 9:34着)
- ②11月11日 会場17:15発 → 七戸十和田19:45着 (新幹線:七戸十和田駅19:59発)
- ③11月12日 下風呂温泉8:00発 → 七戸十和田10:30着 (新幹線:七戸十和田駅10:54発)

■宿泊施設について■

どの宿泊施設も交流会会場より徒歩5分圏内です。各宿泊施設の詳細は「下風呂温泉郷ホームページ」でご確認ください。満室等によりお部屋を準備できない場合がございますので、お早めの予約をお願いいたします。

宿泊施設名	1泊朝食付料金(諸税込)		宿泊施設名	1泊朝食付料金(諸税込)	
	1名1室	2名1室		1名1室	2名1室
下風呂観光ホテル三浦屋	10,950円	9,870円	つぼた旅館	7,000円	7,000円
ホテルニュー下風呂	7,710円	7,710円	まるほん旅館	7,000円	7,000円
かどや旅館	7,500円	7,000円	民宿菅原	5,000円	4,500円
さが旅館	6,630円	6,630円			

■第27回地域シンポ 参加申し込み■

参加希望者名、連絡先等、必要事項をご記入の上、下記宛先までFAX、もしくはお電話、メール（東京水産振興会のみ対応）にてお申し込みください。参加申込は、**11月5日まで**にお願いいたします。

※送迎バスの利用、シンポジウム、交流会（参加費¥5,000）への参加、宿泊予約の希望について、必ず欄内に○×をお願いします。宿泊予約を希望される場合は、開催案内に記載してある宿泊施設から、希望する宿泊施設名をご記入ください。なお、予約状況によってはご希望に添えない可能性もございます。あらかじめご了承ください。

○風間浦村商工会（担当：八戸）宛

FAX：0175—35—2119

電話：0175—35—2010

○一般財団法人 東京水産振興会（担当：松田）宛

FAX：03—3533—8116

電話：03—3533—8111

E-mail：tkyfish@blue.ocn.ne.jp

氏名	所属先 部署名	送迎 バス	シンポ ジウム	交流 会	宿泊 予約	希望 宿泊先
代表者 連絡先	(ご住所) 〒					
	(お電話番号)					
	(FAX番号)					
	(メールアドレス) @					

※ご連絡する際に必要となりますので、電話番号とE-mailアドレスを必ずご記入ください。今後、シンポジウムやイベント等のご連絡に使用させていただきます。 ※定員に達した場合、期限よりも早く受付を終了する場合がございます。